



第7回 早稲田
狂言の夕べ

2016年
4月19日(火)

17時30分開演

開場17時 終演予定19時

会場 早稲田大学大隈記念講堂
入場料 無料（全席指定 要申込）
対象 本学学生 教職員 招待校友

※未就学児入場不可

解說 野村萬斎

仕舞（観世流）
天鼓
船弁慶

西村高夫
清水寛二

奈須与市語

野村万作

休憩十五分

首 狂言

引

親鬼 野村萬齋

眷 眷 眷 眷 姬
屬 屬 屬 屬 鬼

岡中竹深高石
村山田野田
聰修悠博治和憲雄
史一樹

岡中竹深高石安柴谷青
村山田野田藤本木
聰修悠博和幸雄貴健
史一樹治憲雄康健吾



学生・教職員申込日程

我的早大
(MyWaseda)

〔1次募集〕2月29日(月)～3月4日(金)
〔2次募集〕4月1日(金)～4月5日(火)

※詳細は裏面に記載



「早稲田狂言の夕べ」は、本学校友で人間国宝および、昨年、文化功労者として顕彰されました野村万作氏、推薦校友の野村萬斎氏による狂言のイベントです。2010年4月より本学学生・教職員・招待校友を対象として開催し、毎年大好評をいただいております。今年はさらに、本学校友の能楽師・清水寛二氏、西村高夫氏の仕舞も加わった豪華な舞台となります。早稲田大学でしか観られない一味違った舞台を、重要文化財・大隈記念講堂にてお楽しみください。

あらすじとみどころ

仕舞 天鼓(てんこ)

天から降った鼓を持つ少年・天鼓の靈が、手向けの舞楽に感謝し、供えられた鼓を自ら打って樂を奏し、喜びの舞を舞う場面を、紋付袴姿によるシテと地謡で演じます。

仕舞 船弁慶(ふなべんけい)

兄・頼朝に追われ、摂津・大物浦から船で西国に落ちようとする源義経一行の前に、西海で滅亡した平家一門の武将・平知盛の亡靈が現れ、義経一行を海に沈めようと襲いかかる場面を、紋付袴姿によるシテと地謡で演じます。

狂言 奈須与市語(なすのよいちのかたり)

源平による八島の合戦の時のこと。海上の平家方より、扇を立てた一艘の舟が漕ぎ出だす。源氏の大将義経は、後藤兵衛実基の献策により、弓の名手・奈須与市宗高を召し、扇の的を射ることを命じる。初めは固辞した与市だが、義経の厳命にやむなく従う。与市は馬を海中に乗り入れるが、波に揺れる小舟になかなか狙いが定まらない。そこで神明に祈りを捧げると、不思議と的に一瞬静止する。すかさず放った矢は見事命中し、扇は夕暮れの波間にひらめき落ちる。源平両軍の賞賛の中、与市は大将義経の御感にあずかるのだった。

能『八島』の間狂言の特殊演出として演じられる語りで、奈須与市が扇の的を射た有名なエピソードを仕形話にしたもの。狂言の代表的な秘伝で、能とは別に単独でも演じられます。奈須与市・源義経・後藤兵衛実基などの人物を一人で演じ分ける華やかな仕形は、観る者を引き込まずにはいられません。

狂言 首引(くびひき)

播磨の印南野を通りかかった鎮西八郎為朝の前に鬼が現れる。娘の姫鬼に人の食い初めをさせたいという鬼に、為朝は、姫と勝負して負けたら食われよう、と提案する。親鬼は恥ずかしがる姫を説得して腕押し・すね押しをさせるが、豪傑無双の為朝にはかなわない。苦戦する我が子に気が気でない親鬼は、ある策を思いつき…。

豪胆な英雄・為朝に対し、可憐な姫鬼を華麗かつ懸命に応援する親鬼。人間以上に子煩惱な鬼の姿に、思わず顔がほころびます。鬼対人の戦い。さて、この勝負の行方は?

野村 万作

のむら まんざく

1931年東京生まれ。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学第一文学部卒業。「万作の会」主宰。国内外で狂言普及に貢献、ハイ大・ワシントン大では客員教授を務める。芸術祭大賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、長谷川伸賞等受賞歴多数。02年早稲田大学芸術功労者、08年練馬区名誉区民、12年旭日小綬章。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』等、狂言師として新たな試みにも取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。練馬文化センター名誉館長。15年文化功労者顕彰を受ける。

野村 萬斎

のむら まんさい

1966年東京生まれ。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。早稲田大学推薦校友。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇・映画・テレビなどで幅広く活躍。12年には主演映画『のぼうの城』が大ヒットした。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊國屋演劇賞等の他、12年度芸術祭優秀賞受賞。重要無形文化財総合指定保持者。世田谷パブリックシアター芸術監督。

申込方法

対象: 本学学生・教職員(関係職員含む)

MyWaseda 申請フォーム(ホーム・申請フォーム・アンケート・申請フォーム入力「早稲田 狂言の夕べ」観覧申込)より受付。応募者多数の場合は抽選。

1次募集 2月29日(月) 9:00 ~ 3月4日(金) 17:00
3月10日(木) 当選結果通知(Waseda-netメール)

2次募集 4月1日(金) 9:00 ~ 4月5日(火) 17:00
4月8日(金) 当選結果通知(Waseda-netメール)
※2016年4月入学の新入生優先

チケットは当選者ご本人のみ有効です(同伴不可)。
1階は招待席のため、公募席は原則として2階です。お席は当日割り振らせていただきます。
本学の在籍が3月で終了する方は、1次募集のみお申込みいただけます。なお、校友(卒業生)の方は申込方法が異なります。「早稲田学報」2016年4月号掲載の案内をご覧ください。

お問い合わせ

メール: kyogen-toiawase@list.waseda.jp

文化推進部文化企画課 TEL: 03-5272-4783 (月~金 9:00~17:00)

総長室校友課 TEL: 03-3202-8040 (月~金 9:00~17:00)

《スタッフ》

照 明 / (株)斎藤舞台照明 斎藤 正雄 制作協力 / 万作の会

舞台監督 / 小坂部 恵次 制作 / 早稲田大学文化推進部

舞 台 / 金井大道具株式会社 古賀 学 文化企画課

※「早稲田文化」ホームページよりイベントメールニュース登録受付中です。 <http://www.waseda.jp/culture/>



清水 寛二

しみず かんじ

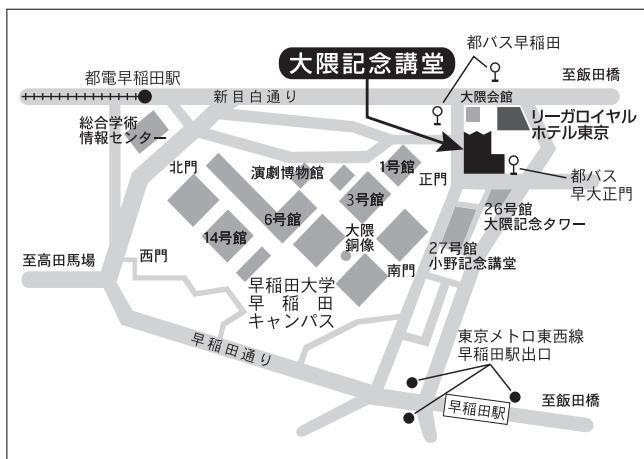
シテ方観世流能楽師。1953年奈良県生まれ。早稲田大学教育学部卒業。在学中、早稲田大学観世会にて山本順之の指導を受け、鍊仙会に入門。故観世寿夫、故八世観世錦之亟、九世観世錦之丞に師事。鍊仙会での演能のほか、復曲や『長崎の聖母』『沖縄残月記』等の新作能、また他ジャンルとの創造活動等にも多数参加、意欲的な活動を続ける。重要無形文化財総合指定保持者。昨年まで早稲田大学観世会で学生の指導を行う。



西村 高夫

にしむら たかお

シテ方観世流能楽師。1952年新潟県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。在学中、早稲田大学観世会にて山本順之の指導を受け、鍊仙会に入門。故観世寿夫、故八世観世錦之亟、九世観世錦之丞に師事。清水寛二と「響の会」を結成。2006年、出身の新潟県小千谷市にて「震災復興祈念 小千谷能」を企画、上演。復曲や新作能への出演、世阿弥座などの海外公演にも積極的に参加している。重要無形文化財総合指定保持者。



交通アクセス

JR山手線 / 西武新宿線(高田馬場駅 徒歩20分)

地下鉄東京メトロ(東西線・早稲田駅 徒歩5分) (副都心線・西早稲田駅 徒歩17分)

学バス(高田馬場駅 - 早大正門 徒歩1分)

都バス(新宿駅西口 - 早稲田) (渋谷駅 - 早大正門) (上野広小路 - 早稲田) 徒歩3分

都電(三ノ輪橋駅 - 早稲田駅 徒歩5分)

・学内に駐車場はございません。